

日本地球電気磁気学会会報(第10号)

1964年3月10日

日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区赤生町3

東京大学理学部地球物理学教室内

電話(812)2111内線6476

振替東京4860番

第35回講演会および総会

今春開かれます第35回講演会および総会日程は次のように致す予定です。

会期：1964年5月27日(水)、28日(木)、29日(金)、30日(土)

開催担当機関：東京大学

会場は東京大学内になる予定です。

講演申込締切期日 4月20日(月)

講演予稿提出締切期日 5月9日(土)

送り先 東京都文京区赤生町 東京大学理学部地球物理学教室

福島 直

田中館賞候補論文推薦および総会議題提案をされたい会員の方々は、前田
一委員長(京都市左京区吉田 京都大学工学部電子工学教室)宛に適當な
様式の書面にて昭和39年4月30日(木)までに御申出下さい。田中館賞
候補論文を推薦される場合には、御申出が受理されますと、委員長から推薦
者宛に推薦理由説明書、推薦論文別刷各12部の提出を求められますことを
予め御承知おき下さい。

会誌 Journal of Geomagnetism and Geoelectricity 発刊状況

本会報に添えまして、昭和38年度学会費(800円)を既にお納め下さつ
た会員各位には J.G.G. Vol. XV, No. 3 を配布しております。会誌 Vol. XV,
No. 4 (地球内部電磁現象特集号)及び Vol. XVI, No. 1 が現在印刷中でありま
す。

新入会員および賛助会員紹介

第9号会報でお知らせしました後に新しく正会員になられました方々は次の通りです。

(敬称略、昭和39年2月20日までに正式受理された申込)

岩田 晃 (名古屋大学空電研究所)

河野 長 (東京大学理学部物理学科地理物理学課程)

山田 哲雄 (信州大学文理学部地学教室)

村田 寛雄 (上田千曲高校)

Wallace H. Campbell (NBS Boulder, U.S.A.)

Samuel Silver (Univ. California, Berkeley, U.S.A)

Edward T. Pierce (Stanford Res. Inst, California, U.S.A)

Noel D. Clarence (Univ. Natal, Durban, South Africa)

John. R. Herman (AVCO, Wilmington, Mass., U.S.A.)

昭和38年度の賛助会員になっていただいた方々は

沢尻 秀雄 (光文堂代表取締役、福島会員紹介)

樋口 卓栄 (学協社代表取締役、福島会員紹介)

弓削田 静平 (協立社社長、福島会員紹介)

田中 録次郎 (文功社代表取締役、福島会員紹介)

最近諸物価の値上りもあり、また学会誌刊行に努力しているため、学会財政は窮乏を告げていますので、会員の皆様から一人でも多く賛助会員を紹介して下さいようお願い申し上げます。

地球電磁気学発展のための長期計画立案

わが国における学術研究を推進するために、日本学術会議長期研究計画調査委員会は、かねてから地球物理学関係者に対しても長期計画案の提出を要望していましたが、しかし地球物理学研究連絡委員会では前委員長の意見により計画提出の要望に応じませんでした。しかし現在地球物理長期計画の立案と提出を重ねて要望されていますし、また長期計画を常に考えておくことは学問の発展のために必要なことでもあります。地球物理学各部門のうち、気象学・海洋学・地震学などの各部門では長期計画立案をそれぞれ日本気象学会・日本海洋学会・日本地震学会に原案作成を委嘱して作業を進めております。地球電磁気学に関しましても、地球物理学研究連絡委員会電磁気分科主任が

ら当学会めてに長期計画原案作成依頼がありました。そこで去る2月20日に本学会評議員会、運営委員会合同会議を開き、具体的にどのようにして作業を進めてゆくかを論じました。その結果以下に記しますような方法をとることになりましたので、会員各位の積極的な御援助をお願い申し上げます。

地球電磁気学長期計画についてのアンケート

日本学術会議長期計画委員会のご趣旨に沿い地球物理学研究連絡委員会地球電磁気学分社会の依頼を受けて、日本地球電磁気学会に長期計画を立案する小委員会が設けられました。この小委員会では、本学会で取扱われる研究分野を次のようにわけて各分野についての意見をまとめる採の方々をそれぞれ置きました。すなわち

<u>研究分野</u>	<u>取調原氏名・所属</u>
1. 地球内部電磁現象	行成 毅 (東京大学地震研究所)
2. 岩石磁気、古地磁気	小島 稔 (東京大学理学部地球物理学教室)
3. 空電、空中電気	岩井 章 (名古屋大学空電研究所)
4. 宇宙線	北村正画 (気象研究所)
5. 磁気測量・測器	抑原一天 (地磁気観測所)
6. 電離層	新野賢爾 (電波研究所平波電波観測所)
7. 電波伝播	若井 金 (電波研究所)
8. 地磁気変化	福島 直 (東京大学理学部地理物理学教室)
9. 超電層余光(夜光、極光など)	等松隆夫 (東京大学理学部地球物理学教室)
10. 宇宙空間	大林辰蔵 (京都大学工学部電離層研究観測所)
11. その他及び一般	平尾邦雄 (電波研究所)(小委員会委員長)

となっております。この小委員会の第一の仕事として、本学会会員の皆様から、皆様が日頃考えておられる長期計画についてのお考えを示していただきたいので、アンケートをお送りすることにしました。それをもとにして、小委員会でそれをまとめまして、今春開かれます総会・講演会会期中に行なわれる長期計画についてのシンポジウムの議題と致したいと思っております。

会員の皆様方にお答えいただく用紙を3枚づつお送り致しますから興味をお持りの分野について適宜御意見を御書きの上、本学会事務所に昭和39年3月31日までにお送り下さい。もし数多くの分野につきましてお書きになられる場合には、用紙を学会事務所に請求されるなり、または適宜用紙を御使用下さるようお願い致します。なお特定の分野に限らぬ御意見を数多くお寄せ下さい。この長期計画は、他の地球物理学の分野のものも含めて

(24)

地球物理学長期計画として学術会議で討議されるものであり、将来研究費の割当などについても重要な参考資料となりうると考えられますので、特にこの点に御留意の上熱心なる御回答をお寄せ下さることを期待しております。

質問事項につきましては、添付アンケート記入用紙に記してあります如く

1. 今後特に進めなければならない研究とその目標
2. 研究態勢を一応完成させるに要する年数
3. 年次計画割当
4. 研究を行うに必要な研究者の数
5. 特別な研究所を必要とするかどうか
6. 共同利用に適した大施設の必要性有無
7. 研究施設の更新について
8. 年間総帯研究費額
9. 研究者相互の連絡特に世の分野との連絡
10. 研究者の待遇改善
11. その他

について一応率直な御意見を書いていただくようになっております。しかし上記項目以外にも重要な事項はありましようし、また小委員会の活動あるいは学会の活動につきましても有益な御意見をこの際うけたまわりたく存じます。会員の皆様のご協力を御願ひ致します。

(追記) ただいま学会事務所では新しい会員名簿を作成しつつあります。

会員の方々に、近い将来(たとえば4月から)所属や宛先に変更があります方は、この際学会事務所に御一報下さるようお願い致します。